

第 7 回 練馬区地域公共交通活性化協議会  
議 事 概 要

○開催日時
令和 8 年 1 月 20 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
○会場
練馬区職員研修所 2 階 研修室
○出席者
【出席 24 人】 大沢会長、中沢副会長、板谷委員、岩澤委員、廣元委員、近藤委員（代理出席：松永様）、 秦野委員、鈴木委員、小川委員、三浦委員（代理出席：山田様）、井上委員（代理出席： 新田様）、高橋委員（代理出席：伊藤様）、奥村委員、佐久間委員、中山委員、菊池委員、 西東委員、森委員、岡本委員、塩田委員、渡邊委員（代理出席：江口様）、安田委員、 大塚委員、星野委員 【欠席 8 人】 【傍聴 3 人】
○議事
（１）練馬区地域公共交通計画（素案）について 令和 8 年 2 月にパブリックコメントを実施することが了承された。 （２）練馬区デマンドタクシー実証実験について 令和 8 年度実証実験について協議が調った。

○委員からの主な意見

▶公共交通体系に関する意見

- ・「幹・枝・葉」の階層に分類した公共交通体系は、分かりやすい。
- ・公共交通空白地域について、特に支援が必要な地域から優先的に取組を進めていく方針は適切である。

▶取組施策に関する意見

- ・車椅子の方の乗降支援など、自動運転でバスを無人化するには課題がある。
- ・E Vバスは、1回の充電で走行可能な距離やメンテナンスの面で懸念が残っている。

▶指標・目標値に関する意見

- ・評価指標とは別に継続的に進捗をチェックする指標を定めて適切に協議会に報告した方が良い。
- ・にぎわい創出に関する指標なので、鉄道の定期外利用は増加を目指すべきではないか。

▶デマンドタクシーに関する意見

- ・デマンドタクシーに関心があるのに利用していない人も多いので、初回利用を促す取組が求められる。
- ・デマンドタクシーの運行による路線バスへの影響は特段なかった。ただし、みどりバスと重複する箇所があるので、すみ分けが必要ではないか。